

講座名（専門科目名）	消化器内科学	連絡教授名	山本 浩一
学生への指導方針	大学院における医学研究を通して研究能力及び発信能力を向上させることにより、消化器内科学分野における指導的医師を育成することを目指している。		
学生に対する要望	臨床研究・基礎研究を問わず、積極的な姿勢で研究に挑戦することを期待する。		
問合せ先	(Tel) 06-6879-3621 (Email) kikaku@gh.med.osaka-u.ac.jp	担当者	林 義人
その他出願にあたっての注意事項等			

消化器内科が診療担当する臓器は食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆嚢・膵臓と多岐にわたり、多様な疾患が対象となります。大阪大学消化器内科学教室では、消化器疾患の克服を目指して、エビデンスの創出を目指して基礎と臨床に立脚した質の高い研究を展開しています。

実臨床におけるクリニカル・クエスチョンを解決するために様々な臨床研究を立案・遂行しています。近年は、患者臨床検体を用いた臨床研究も積極的に取り組み、多数例を用いた解析をしたり関連病院と協力して多機関共同研究を遂行したりすることも可能です。

また、様々な研究が各領域で行われていますが、ウイルス性肝疾患や脂肪性肝疾患、消化器癌や炎症性腸疾患などは、多くの患者がいるにも関わらず、いまだに病態の機序が不明であり、有効な治療法が乏しいなどの課題が山積しています。基礎的研究は非常に重要であり、分子生物学、免疫学、発生工学、臨床遺伝学、統計学を駆使して研究に取り組んでいます。オミックス解析 シングルセル解析、空間トランスクリプトーム解析などの最先端の解析技術も積極的に取り入れ、培養細胞や動物モデルに加えて血清や組織などの臨床検体を用いた研究を活発に行っています。

以下は、当教室の研究内容になります。

1. 肝細胞死、肝線維化、肝再生、肝不全の分子制御機構と生体防御機構の研究
2. 肝胆膵癌の発育・進展における分子機構解明と新規治療標的の探索
3. B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスの増殖機構解析とその免疫制御の分子機構解析、創薬研究
4. 肝胆膵患モデルマウスの構築とその治療法の開発
5. 肝胆膵疾患の各種バイオマーカーおよび最適な治療法確立を目指した臨床研究
6. 胆膵領域内視鏡診断法及び治療法の開発
7. 消化管癌の発生・進展機序の分子生物学的解析と治療法の開発
8. 炎症性腸疾患の成因の機序の解明と新規分子バイオマーカーの開発
9. 消化管腫瘍における各種バイオマーカーおよび最適な治療法確立を目指した臨床研究